神出の樹

平成24年10月1日発行
県立神出学園
神戸市西区小束野30
078-965-1122

毎月１回、主な行事を中心に、神出学園の様子をみなさんにお知らせする学園通信「神出の樹」平成２４年第５号をお届けします。

異常な暑さが続く今年の夏でしたが、９月後半になり、ようやく、秋の気配が感じられるようになりました。今月は神出学園を巣立っていく６名の修了生にとっては、最後の活動月になりました。修了といっても、決してゴールではなく、むしろ新しい世界への旅立ちへのスタートの日です。学園のスタッフにとっては、少し寂しさも感じますが、この学園で、仲間と寝食をともにした素晴らしい思い出を胸に、勇気を持って社会に羽ばたき、自信を持って自分の夢や希望に挑戦していってくださいね。

９月の学園の様子

＜第 33 回　修了の集い＞

修了生が寄贈してくれたオリーブの植樹風景です。花言葉は「平和」「知恵」です。

平成 24 年９月 19 日、素晴らしい秋空にも恵まれ、多くの来賓の方々や保護者の方に見守られながら、「第 33 回　修了の集い」が開かれました。集いのあと、お別れ昼食会では大いに盛り上がり、修了生たちのボーカルを中心としたバンド演奏でも、楽しいひとときを送ることができました。

人との別れは辛く寂しいけれど、新たな人との出会いが待っています。人生にはいろいろな別れがあり、またいろいろな出会いがあります。10 月からは、新しい出会いとして、37 期生が神出の仲間に加わります。

寂しさも喜びも、その時々に自然体で受け止めることが大切ですね。

＜修了記念プログラム＞

9月12日（水）　グリーンピア三木

＜神出学園スタッフの「座右の銘」＞

辻　俊幸さん（教務スタッフ）　「経験に勝るものなし」

この言葉は、学生時代の恩師がよく口にしていたもので、今も自分の心に留めている言葉です。『自分の経験は、どんなに小さくても、百万の他人のした経験より価値のある財産である。』という名言にもあるように、経験することは何ものにも変えられない貴重なものだと感じています。経験することにはもちろん、楽しいものばかりではなく、しんどかったり面倒くさかったりするものもありますが、そのような経験でさえも自分にとって財産になると思うと何か頑張れる気がしています。

先日、修了の集いで、修了生のみなさんが神出学園での経験が自分にとって大変すばらしいものであったと語っていました。私も神出のみなさんといろんなことを経験して、少しでも価値ある財産を増やせればと思っています。

ちなみに、好きな言葉は「ご機嫌は伝染する」です。みなさんといろんなことを経験する中で、ご機嫌いっぱいの神出学園になったら素敵ですね。

「新しい仲間、ヤギのメイちゃんです！」

※次号は、堀内さんの予定です。

お楽しみに！